

五島をつなぐ ～支庁の窓～

No.59 大島町

大島支庁港湾課では、大島、利島、新島、式根島、神津島の各港において、安全性や利便性を高めるための工事を行っています。

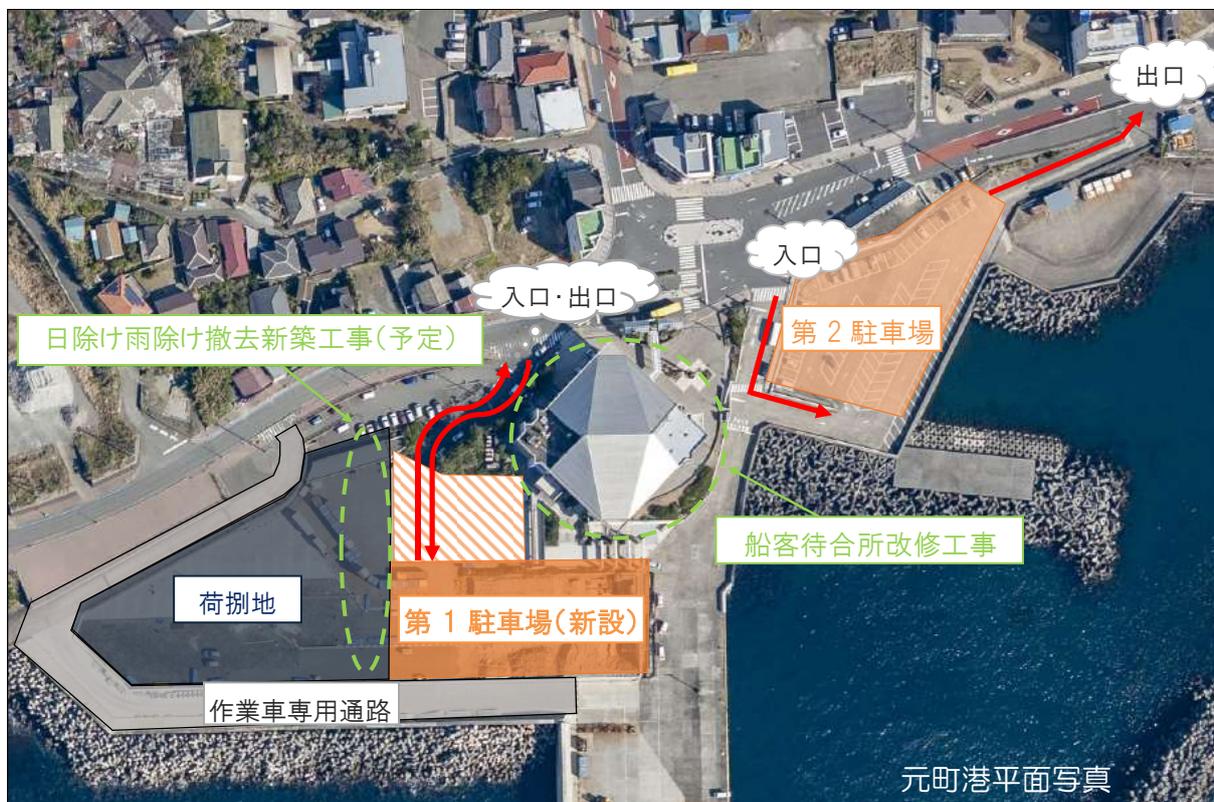
今回は、その中から、元町港の最近の状況として、5月末より一般供用を開始した新たな駐車場（第1駐車場）について紹介します。

これまで元町港の駐車場は、駐車できる車両の台数が少なく、ピーク時に駐車場に駐車車両が収まりきらないといった問題を抱えていました。しかし、今回新たに第1駐車場が整備され、駐車可能な台数が増えたことにより、ピーク時においても安全に駐車いただけるようになりました。

また、元町港駐車場は、三原山噴火時等の際、避難用の広場や駐車スペースとして重要な役割を担うことも想定しており、防災面における機能向上が期待されます。

今後元町港では、船客待合所の老朽化に伴う改修工事や日除け雨除け施設（荷捌地）の新築工事を予定しています。

引き続き、工事の影響により、ご不便をおかけする場合がありますが、皆様にはご理解とご協力のほど、よろしくお願い致します。



五島をつなぐ ～支庁の窓～

No.59 利島村

大島支庁港湾課では、大島、利島、新島、式根島、神津島の各港において、安全性や利便性を高めるための工事を行っています。今回は、その中から、利島港における災害復旧事業の進捗状況について紹介します。

平成 30 年台風 24 号により、利島港では西側岸壁のケーソンが全て滑動したほか、パラペット及び上部コンクリートの破損など大規模な被害を受けました。利島港は島内唯一の港湾であり、島民の皆様の生活や村の産業を支える基盤であることから、早期に利用できるように、段階的に復旧工事を進めております。

令和元年 11 月末から暫定的に供用を開始した西側岸壁は、本年 6 月末に、岸壁の背後に位置する護岸防波部の復旧が完了し、より安全に岸壁を利用いただけるようになりました。今後は、最終段階として、岸壁先端部の復旧工事を進め、岸壁の全面復旧を目指してまいります。

利島村やご来島される皆様には、しばらくの間、ご不便をおかけ致しますが、工事へのご理解・ご協力のほどよろしくお願い致します。



五島をつなぐ ～支庁の窓～

No.59 新島村

大島支庁港湾課では、大島、利島、新島、式根島、神津島の各港において、安全性や利便性を高めるための工事を行っていますが、今回はその中から、新島港の防波堤(北)建設事業について紹介します。

当課では、新島港の玄関口として、大型定期船とジェットfoilを接岸する定期船岸壁(-7.5m岸壁及び-7.5m岸壁(西))を整備・運用してきました。

しかし、冬季風浪時には定期船岸壁への接岸に苦慮していることもあり、より一層の安定的な就航を図ることを目的として、平成19年度より「防波堤(北)」事業の整備を開始しております。

本事業は、全長300m、幅員23m、高さ約7mのケーソン式防波堤として、平成19年度より整備を開始してきましたが、本年度に最後のパラペットを構築することで事業を完了することになります。

今後も、新島港をはじめとする新島・式根島の港湾・漁港・空港・海岸施設では、様々な工事が実施されますが、皆様のご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。



五島をつなぐ ～支庁の窓～

No.59 神津島村

大島支庁港湾課では、大島、利島、新島、式根島、神津島の各港において、安全性や利便性を高めるための工事を行っています。

今回は、その中から、神津島港防波堤（西）整備事業について紹介します。本事業は、島の玄関口である神津島港の就航率向上を図るため、平成 27 年度から防波堤の建設をケーソン式により行っています。現在、3 函目までの整備が完了しており、今年度は 4 函目で 36.4m 延伸されます。さる 7 月 14 日、東京港で前年度製作したケーソンを船で 2 日弱かけて神津島まで運び、沈設しました。

今後も工事完了まで、港を利用される皆様にはご不便をおかけしますが、港湾事業への御理解と御協力をいただきますよう、宜しくお願い致します。

